

中学校 外国語（英語）科 学習指導案

〇〇〇〇立〇〇〇学校

指導者 〇〇〇〇〇

1. 日 時 令和〇年〇月〇日（〇）
2. 場 所 第3学年〇組教室
3. 学年・組 第3学年〇組（〇〇名）
4. 単元名 Unit 6 Lively Towns in Japan （使用教科書：啓林館「BLUE SKY③」pp.75-87）
5. 単元の目標

海外の人たちに自分たちの町の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を書くことができる（書くこと）

6. 教材観

本単元のテーマは、「地域の活性化」である（教科書 p.75 参照）。このテーマに沿って、本文では「滋賀県のゆるキャラ」「鳥取県の観光スポット」「北海道のご当地グルメ」「徳島県の町おこしのビジネス」が題材として扱われている。これらの題材を例に、〇〇市に関係した情報を発信できると考えた。

小学校でも自分の市について社会科や総合的な学習の時間などで学んでいる。これらの学びを繋げながら、中学生として改めて〇〇市の魅力について考え、発信していく機会とする。単に情報を外国人に伝えるのではなく、〇〇市の魅力をどのように伝えるのかを考えさせることが工夫の一つである。

7. 生徒観

※省略

8. 指導観

〇〇市に関する情報を発信する内容は多岐にわたる。「どんなトピックでも構わない」ということを原則とするが、それだけ伝えても生徒の思考は活性化しないだろうと感じた。よって、教科書で扱っている「ゆるキャラ」「観光場所」「名産物・グルメ」を主な題材とする。そうすることで、教科書本文の読解を単元の中心となる言語活動に取り組む上での有益な教材とする。

また、ここでの「小中の学びの連続性」の工夫として、小学校社会科の副読本「わたしたちの町〇〇〇」の一部をそのまま使う。小学校の学びを想起させながら、本単元の中心となる言語活動につなげていく。同時に、単元の目標を「自分事」にしていく。

今回は、ALT から送られてきた e-mail に、ある要望が書かれていることが本単元の中心となる言語活動が起こるきっかけとなっている。そうすることで「読むことから話すこと」のような統合的な言語活動（学習指導要領「書くこと」の目標のウに関連）を仕掛けていく。高校入試を見据えて、少し長く、やや難しめの英文を作成した。今回、中心となる領域が「書くこと」であるため、必然的に「正確性」を意識する指導が多くなる。

また、ALT の要望をそのまま考えれば、ALT に向けて〇〇市に関する英文を書くことになるのだが、ALT の要望を踏まえ、生徒とのやり取りを通して「+αの考え」を入れ、自校の HP にその英文を載せることとする。ALT の要望も満たしながら、世界に自分たちの英文を発信するという目的を増やすとともに、授業者や ALT のメッセージも状況に応じて伝えていくことで「これからみんなは世界を視野に頑張っていってほしい」という卒業を見据えた視点も、生徒が意識していくことができるようにする。

9. 単元の評価規準（「おおむね満足できる状況」に該当）及び判断基準

※ **波線部**は、「おおむね満足できる状況（評価規準）」の表記に加筆した部分

【知識・技能】

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況（評価規準）	努力を要する子どもへの支援
<知識> 現在分詞・過去分詞や及び仮定法の特徴やきまりを<u>正確に</u>理解している。 <技能> 海外の人たちに〇〇市の魅力を伝えることについて、現在分詞・過去分詞や仮定法を含む簡単な語句や文を書く技能を<u>正確に</u>身に付けている。	<知識> 現在分詞・過去分詞や及び仮定法の特徴やきまりを理解している。 <技能> 海外の人たちに〇〇市の魅力を伝えることについて、現在分詞・過去分詞や仮定法を含む簡単な語句や文を書く技能を身に付けている。	・こちらが指定した「現在分詞・過去分詞や仮定法についての解説動画」を何回も見るように促す。 ・語順の指導を充実させて、現在分詞・過去分詞や仮定法を含んだ英文を書くことができるようにする。

【思考・判断・表現】

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況（評価規準）	努力を要する子どもへの支援
海外の人たちに〇〇市の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を、 <u>具体的に</u> 書いている。	海外の人たちに〇〇市の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を書いている。	1 コマにつき、1 文だけ英文を書くようにし、それらの文をつなげていけば ALT に向けたメールを書くことができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

十分満足できる状況	おおむね満足できる状況（評価規準）	努力を要する子どもへの支援
海外の人たちに〇〇市の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を、 <u>具体的に</u> 書こうとしている。	海外の人たちに〇〇市の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を書こうとしている。	振り返りの活動の際、自分の学びができるだけ自覚できるように、指導者が該当生徒と対話しながら、そのやり取りを振り返りシートに書くように促す。

10. 単元の指導と評価の計画（全 10 時間）

	単元の目標： 〔海外の人たちに自分たちの町の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を書くことができる〕 単元の中心となる言語活動： 〔海外の人たちに自分たちの町の魅力を知ってもらうために、〇〇市に関する様々な情報について事実や自分の考えを整理し、学校の HP に掲載するための英文を書くことができる活動〕	「指導に生かす評価」は随時行うこととする。ここに改めて記載はしない。
時	■ 本時の目標 ◇ 本時の中心となる言語活動 ○ 扱うページなど	記録に残す評価 【観点】 評価方法等
第 1 時	■ ALT のメール文を読み、〇〇市の魅力について考え、やり取りすることができる（単元目標の共有） ◇ 小学校での学びを想起させながらやり取りを行う。 ○ 特になし ※ 「宿題」として、〇〇市についてできる範囲で調べておく。	
第 2 時	■ Unit 6 の中心となる単元の中心となる言語活動に関わる評価を含めた学習の見通しを持つことができる。（評価の共有） ◇ 〇〇市に関する話題で、生徒同士を中心にやりとりをする（前時の復習） ○ p.142「CAN-DO リスト」 ※ 状況に応じて新しい言語材料（語彙、分詞、仮定法など）を含む表現を練習する。	
第 3 時	■ 英文を読み、相手に分かりやすく伝えるときともに、自分たちの意見を伝え合うことができる(1) ～ (3) ◇ 読み取った英文の内容について、自分の意見、理由などをやりとりする ○ pp.76～81（Part1 から Part3） ※ (1)「ゆるキャラ編」(2)「観光スポット」編 (3)「グルメ編」	
第 6 時	■ 徳島県の町おこしに関する英文を読んで概要や要点を捉えるときともに、自分の意見や気持ちなどを伝えあうことができる。 ◇ 英文を読んで、その概要や自分の意見、理由などをやりとりする ○ pp.82～83(Read & Think)	
第 8 時	■ 学校の HP に掲載する英文を書くことができる。 ◇ 英文を読んで、概要や要点を捉えなおす ※ ここでは、よりよい英文を書くために、Unit6 全体を読み直し、文章構成を考える。 ○ pp.75～83	

第 9 時	■自分が書いた英文をブラッシュアップさせることができる（前編） ◇自分たちが書いた英文について意見交換しながらブラッシュアップする。 ○ 特になし	
第 10 時	■自分が書いた英文をブラッシュアップさせることができる（後編） ◇学校や市の HP に掲載する英文を書く。 ○ 特になし	知識・技能 （ワークシート） 思考・判断・表現 （ワークシート） 態度（振り返りシート）
後 日	ペーパーテスト	